

羅 針 盤		達成度			改善状況のまとめ	学校関係者評価	次年度の課題	
評価対象	評価項目	具体的数値項目	①	②				総合
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 工業高校として特色ある教育活動を行っていますか。	1) 各学科・教科の編成するカリキュラムや実習・課題研究の取組について、80%以上の生徒が満足している。	A	A	A	・アンケートにより、生徒94%の高い結果となった。令和4年度入学生以降の教育課程を進める中で、生徒の進路選択に見合うカリキュラムかを検証していく。	・課題研究の成果発表会を見て、仲間と知恵を出し合うなど、思っていた以上に深く学んでいると感じられた。	・カリキュラムの編成と生徒の進路実現の関連性を丁寧に伝えていく。 ・生徒が、専門科目に積極的に取り組み、進路実現できるような指導を継続する。
		2) 学校生活が充実していると感じている生徒の割合は、80%以上である。	A	A	A	・アンケートにより、生徒92%の高い結果となった。各種競技会への参加や学習成果発表の場を今後も積極的に設け、課題研究・実習の授業を充実させていく。	・登下校などでよく挨拶をする様子が見られ、生徒が学校生活に満足している様に見える。	・資格取得の支援や、学習発表会などを通して、生徒が活躍する場を設け、卒業後は即戦力となれるような指導をする。
	2 資格取得や検定試験に向けた適切な指導を行っていますか。	3) 生徒が資格取得等に積極的に取り組み、90%以上の生徒が1つ以上の資格を有し、1回以上検定試験を受験している。	C	C	C	・アンケートにより、生徒70%台の結果となった。多くの生徒が資格取得に向けて積極的に取り組んでおり、学科間を横断する指導体制を強化し、目標達成に向け努力したい。	・生徒が進路選択に役立てられるような資格取得の指導を継続して欲しい。	・資格取得によって得られるものを示しながら指導するとともに、学科間を横断する指導体制を強化し、生徒がより積極的に取り組めるようにする。
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	3 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	4) 授業改善委員会の開催や、校長授業参観及び教員相互の研究授業を年複数回実施し、全職員が授業改善に取り組んでいる。	B	B	B	・アンケートにより、職員97%、生徒90%、保護者74%の結果となった。指導と評価の一体化などの授業改善の取り組みが保護者へ十分に伝わっていない状況である。生徒・保護者へのフィードバックを的確に行い、周知に努めたい。	・ICT機器（クロームブック）を活用した授業が行われており、生徒が上手に使用していた。さらに生徒の興味・関心を伸ばせるよう工夫して欲しい。	・教職員の資質向上のために、授業観察や、教員相互の授業研究の機会を設ける。 ・新学習指導要領に則した学習計画と評価の観点を検討し、生徒・保護者への周知とフィードバックを行う。
		4 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	5) 専門教科と普通教科をバランスよく学び、基礎学力を向上させることで80%以上の生徒が学習に対し達成感や満足感を持っている。	B	B	B	・アンケートにより、生徒84%の高い結果となった。生徒の達成感や満足感だけでなく、それが確かな学力につながるよう、指導・支援を行いたい。	・生徒の実態に合った授業の工夫や補習をさらに取り組んで欲しい。
	5 生徒の学び合いの充実に重点を置いた指導を行っていますか。	6) 自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、相手の意見に耳を傾け、仲間と協力し合って活動することができる生徒が80%以上である。	B	B	B	・アンケートにより、職員83%、生徒90%、保護者80%と高い結果となった。3年生の課題研究以外でも協働学習や発表機会をより増やしていくなど、引き続き丁寧に指導していく。	・学習成果発表会では生徒が自分のやったことに自信を持って発表していた。発表にあった図書検索プログラムは是非実際に活用して欲しい。	・生徒同士のコミュニケーションに重点を置き、人の意見にしっかりと耳を傾けたうえで、自分の意見を的確に述べられるような授業展開を工夫する。
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	6 組織的・継続的な指導を行っていますか。	7) 職員会議や学年会議・科会議等において、生徒に関する情報交換を月3回以上行っている。	C	C	C	・アンケートにより、職員79%の結果となった教育相談とも連携し、各学年・教科を含め、学校全体で生徒を指導・支援できるよう、体制を整える。	・先生方の結束力が強く、生徒へ良い影響を与えている。これからも教職員が身近な社会人の代表として手本を示して欲しい。	・教育相談係とも連携して学年間、教科間での情報交換を密に行い、生徒の実態に即した指導を継続する。
		8) 職員や来校者に積極的に挨拶ができる生徒が80%以上である。	A	A	A	・アンケートにより、職員90%、生徒94%の高い結果となった。引き続き、挨拶の呼びかけや指導を徹底したい。	・元気に挨拶できる生徒が多く、先生方の日頃の指導の成果であると思う。	・日々の登校時玄関前指導や、校内での声かけを継続し、挨拶することを当たり前にしていく。
	7 いじめの発生防止及び早期対処に努めていますか。	9) 教育相談係やスクールカウンセラーを活用しやすい環境を整えることで、いじめの未然防止と早期対処に努め、いじめの解消率が100%である。	B	B	B	・スクールカウンセラーの周知は進んでいるが、いじめの有無については、保護者の約38%が「分からない」という回答であった。いじめの未然防止を含め、保護者との密な連携が必要である。	・生徒や職員のメンタル不調に気づくことが大事であり、日頃から気をつけて観察、指導して欲しい。	・生徒だけでなく、保護者へもスクールカウンセラーの活用をすすめる。 ・いじめの未然防止を含め、保護者との連携を密にする。
		10) 「いじめ防止基本方針」について、80%以上の生徒、保護者が理解している。	D	D	D	・認知度はアンケートにより、生徒59%、保護者42%となった。「いじめ基本方針」についてホームページで掲載しているが、改めへ生徒・保護者への説明の機会を設ける。	・いじめやSNSへの誹謗中傷などを未然に防ぐ取り組みを継続し、工夫していきたい。	・全校集会や学年集会の時に「いじめ防止基本方針」を周知する。 ・保護者への理解度を向上させるため、保護者宛通知や学校ホームページへの掲載を行う。
8 生徒は健康で規則正しい学校生活を送っていますか。	11) 部活動に加入している生徒のうちの80%以上が、意欲的に活動している。	12) 生徒の安全な登下校のために、交通指導を定期的に行っている。	A	B	B	・アンケートにより、職員91%、生徒59%、保護者77%となった。職員と生徒との認識の差が大きい。より一層、生徒が意欲的に活動できているかという視点で指導・支援に当たる。	・コロナ禍で活動制限もあるなか、工夫しながら活動し、優秀な成績をあげるなど活躍している生徒もいる。	・生徒に目標を持たせたり、成功体験を積み重ねさせたりして、意欲的に活動できるようにする。
		12) 生徒の安全な登下校のために、交通指導を定期的に行っている。	A	A	A	・定期的な指導を行っているが、ヘルメットの着用率の向上や交通事故件数の減少につながるよう、取り組みを徹底する。	・ヘルメット着用の定着率が気になる。継続した指導をお願いしたい。	・安全教育の推進とともに、ヘルメット着用率の向上を目指し、指導を徹底する。
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	9 計画的な進路指導を行っていますか。	13) 進路関係の行事やガイダンスを年5回以上実施する。	A	A	A	・年間を通して十分な回数の進路行事を行えている。今後は、生徒の進路実現にどのくらい参考になったかなどを参考に、内容を精選していく。	・公務員や進学希望の生徒への熱心な進路指導の様子が見られる。引き続き生徒の希望にそった進路指導を継続して欲しい。	・進路行事の内容をより深く考えられるよう、ホームルームの時間やキャリアパスポートを有効に活用する。
		10 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	14) 自分の進路について真剣に考え、その実現のために努力している生徒が80%以上である。	B	B	B	・生徒の83%が進路実現に対し積極的に考えている。他の生徒についても継続的な指導・助言を通して、進路実現をサポートしていく。	・今年度も、就職内定率が良好であった。生徒の今後の活躍が楽しみである。
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	11 家庭、地域社会に積極的に情報発信していますか。	15) PTAの諸行事に、50%以上の保護者が参加している。	A	A	A	・PTA総会では書面表決にするなど工夫をして行った。コロナの規制緩和に伴い、より多くの行事への参加を促したい。	・コロナ禍でも工業祭や授業参観など保護者が参加できる行事ができて良かった。	・学校行事に対する保護者の理解が深まるよう、引き続き情報発信をしていく。
		16) 地域への貢献活動を年3回以上実施し、HPでの情報発信を月1回以上、PTA会報の発行を年2回行っている。	A	A	A	・ぐんまスクールネットメール連絡網による通知やホームページの更新を通して、継続的な情報発信を行っている。	・塚沢小学校や地域でのボランティアに参加していただきありがたい。今後もお願いしたい。	・今後も同等の頻度でホームページを更新し、新しい情報を発信していく。 ・メール連絡網を利用し、きめ細やかな内容の通知やアンケートなどに活用していく。
VI 教育のデジタル化に努めていますか。	12 ICTを活用した指導を行っていますか。	17) ICT機器を用いた授業等の取り組みについて、80%以上の生徒が満足している。	B	B	B	・アンケートにより、生徒85%の結果となった。生徒の実態をフィードバックし、ICT機器の活用方法や指導方法を工夫することで、満足度を向上させていく。	・ICT機器を上手に使っている生徒が見られる。端末を使うと机が狭くなっているため、上手な方法はないか。	・ICT機器を活用した授業改善を推し進め、生徒の実態をフィードバックし、より効果的な活用方法や指導方法を工夫していく。
		13 ICTを活用した業務改善を行っていますか。	18) ICT機器を活用して、アンケート集計などの業務を学期ごとに3回以上行っている。	A	A	A	・ICT機器の活用でアンケートの集計等が効率的に行えるようになった。一方、アンケートの実施回数も多く、内容の精選が必要である。	・グーグルフォームを活用した生活アンケートなど成果が見られ、今後も継続をお願いしたい。

